

鎖の大陸 (1963)

LE SHIAVE ESISTONO ANCORA
THERE ARE STILL SLAVES IN THE WORLD

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 イタリア／フランス

色彩 Color

初公開日 1964/10/25

公開情報 ヘラルド

【解説】

現代に残る奴隷制度を追い、インド、中近東、アフリカにロケしたドキュメンタリー。中近東、インドをR・マレノッティが、アフリカをF・クイリチが担当した。映画は、作家サマセット・モームの弟だというイギリスの国会議員、ロビン・モームのインタビューから始まる。彼は奴隷制度の悲惨さを議会に訴えている人物で、奴隷制度がなくなることはないのは「奴隷制が広く存在する地域には石油があるからだ」と言う。この発言を引き出しに映画はアラブへと飛び、石油成り金のアラブの族長たちの生活とそ
の下で働かされる奴隷の姿や、この映画で最大の話題となった鎖でつながれた奴隷の首を切り落とす
ショックシーンをストップモーションで映し出す。続いてカメラはアフリカへと飛び、去勢されたう
えでハーレムの番人として売られる黒人や、大勢の黒人女性に鎖をつけて連れ歩く奴隷商人などを描き、
インドのボンベイでは、貧民窟の惨状をルポしている。

【クレジット】

監督	フォルコ・クイリチ	Folco Quilici
	ロベルト・マレノッティ	Roberto Malenotti
	マレノ・マレノッティ	Maleno Malenotti
製作	ルイジ・チェッカレリ	Luigi Ceccarelli
原作	ショーン・オキャラハン	Sean O'Callaghan
脚本	バッシオ・バンディーニ	Baccio Bandini
	ジャンフランコ・カルデローニ	Gianfranco Calderoni
	ロベルト・マレノッティ	Roberto Malenotti
	ルイーズ・ド・ヴィルモラン	Louise de Vilmorin
撮影	アルド・ナシンベーネ	Aldo Nascimbene
	アルド・トンティ	Aldo Tonti
	ビット・アルベルティーニ	Bitto Albertini
	ジュゼッペ・ピノーリ	Giuseppe Pinori
	ナンニ・スカルペリーニ	Nanni Scarpellini
編集	エラルド・ダ・ローマ	Eraldo Da Roma
音楽	テオ・ウスエリ	Teo Uselli